

掲示板

一関アーチェリークラブメンバー募集



アーチェリーは身障者、健常者、成人、子ども、高齢者を問わず誰もが楽しめるスポーツ。初心者の方にはコーチが丁寧に教えます。弓具も貸し出します。見学は自由ですので気軽に問い合わせください。
 ◇練習日…毎週木曜日 18:00～21:00
 ◇会場…サン・アビリティーズ一関
 ◎問い合わせ先…滝田 ☎82-5426 (19:00～21:00)
 090-2997-2007 電子メール: indi.taki@nifty.com

加藤楸邨の句を鑑賞するつどい

いちのせき文学の蔵では、文学散歩に続いて読書会を開催します。当日、楸邨の略歴と秀句選を配布します。
 ◇日時…3月24日(土) 13:30～
 ◇会場…一関防災センター2階研修室
 ◇参加費…無料
 ◇定員…30人(先着順)
 ◇世話役…鈴木きぬ絵、照井翠、渡辺皓介
 ◎問い合わせ先…鈴木 ☎24-3113またはいちのせき文学の蔵事務局(世嬉の内) ☎26-1040

一関二高演劇部特別公演「ボランティアごっこ」

一関二高演劇部は、18年度県高等学校総合文化祭演劇部門発表会で最優秀賞、東北地区高等学校演劇発表会で優秀賞を受賞しました。その作品を市民の皆さんの前で力いっぱい演じます。
 ◇日時…3月29日(木) 18:30開演(18:00開場)
 ◇会場…一関文化センター大ホール
 ◇演目…「ボランティアごっこ」
 ◇入場料…無料
 ◎問い合わせ先…一関二高 ☎25-2242

育児サークル“YFCひまわり”メンバー募集

季節の行事、外遊び、果物狩り、お誕生会などを行っています。大人も子どもたちも楽しく活動していますので、見学に来てみてください。
 ◇活動日…毎週火曜日 10:30～12:00
 ◇活動場所…生協コルザ2階会議室B
 ◇費用…年会費1000円、おやつ代月200円
 ◎問い合わせ先…生協コルザサービスカウンター ☎26-3331

「掲示板」は毎月1日号に掲載します。
 次回4月1日号の締め切りは3月9日(金)です。
 詳しくは、本庁秘書広報課広聴広報係 ☎21-8182へ。

子育て応援イベント「あそびセッション」

おやこ広場「虹」は、初めての子育てを応援するイベントを行います。運動ができる服装でお出てください。
 ◇日時…3月19日(月) ①10:15～10:55(受付10:00～) ②11:15～11:55(受付11:00～)
 ◇会場…きらめきサポートステーション一関(旧ダイエー) おやこ広場
 ◇対象…8カ月～1歳のお子さんと保護者のペア
 ◇定員…各回15組
 ◇受付期間…3月6日(火)～8日(木) ※定員になり次第締め切り
 ◎問い合わせ先…きらめきサポートステーション一関 ☎26-6100

二代目 時の太鼓頭彰会メンバー募集



和太鼓が好きな人、興味のある人を募集します。一緒に祭りで楽しみませんか。
 ◇3月の練習日…3日(土)・8日(木)・9日(金)・21日(水)・24日(土)・28日(水) 19:00～21:00※24日のみ13:00～17:00
 ◇場所…一関文化センター体育館ステージ
 ◇対象…小学4年生以上(親同伴)～体力のある35歳ぐらいまで
 ◎問い合わせ先…菅原 ☎090-7796-1298 電子メール: tokino_taiko@yahoo.co.jp

県認知症高齢者グループホーム協会実践報告会

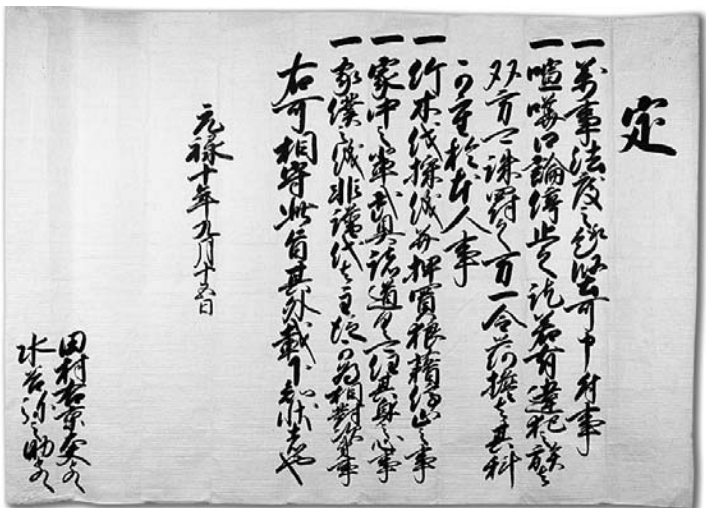
岩手県認知症高齢者グループホーム協会は、県内の認知症高齢者グループホームで組織し、定期的に情報交換などを行って認知症介護について研さんしている団体です。今回「～ささえあい～認知症に向き合う私たちができること」をテーマに報告会を行います。会場は、いずれもベリーノホテル一関です。
 【映画『折り梅』上映会・交流会】
 映画上映会は入場無料で、交流会費は4000円です。
 ◇日時…3月1日(木) 17:00～21:00
 【特別講演会『命の輝きと、家族の絆』】
 映画を監督した松井久子さんを講師に迎えます。入場料は無料です。
 ◇日時…3月2日(金) 10:00～11:30
 【実践報告会】
 ◇日時…3月2日(金) 13:00～15:30
 ◇参加費…3000円
 ◎問い合わせ先…グループホームほっとスマイル ☎21-0228

博物館だより

Ichinoseki City Museum

古来の製法で作られた料紙 将軍条目写

4



定

一 萬事法度は厳しく申し付けべき事
 一 喧嘩口論は止むべし 若し違犯の族有らば、双方これを誅罰すべし 万一荷担せしめば、其の科本より重かるべき事
 一 竹木伐採は、必ず押買狼藉停止の事
 一 家中の輩、武具諸道具、其身の心に任すべき事
 一 家僕の儀、譜代に非ざるは、主従相対次第たるべき事
 右此の旨を相守るべし。其の外下知状に載する者也。
 元禄十年九月十五日

田村右京大夫の
水谷弥之助の

【読み下し文】

一 万事 法度の厳しく申し付けべき事。
 一 喧嘩口論 喧嘩口論を止むべし。若し違犯の族有らば、双方これを誅罰すべし。万一荷担せしめば、其の科本より重かるべき事。
 一 竹木伐採 竹木伐採は、必ず押買狼藉停止の事。
 一 家中の輩 家中の輩、武具諸道具、其身の心に任すべき事。
 一 家僕の儀 家僕の儀、譜代に非ざるは、主従相対次第たるべき事。
 右此の旨を相守るべし。其の外下知状に載する者也。
 元禄十年九月十五日

田村右京大夫とのへ
水谷弥之助とのへ

元禄15(1702)年9月15日、一関藩主田村建顕が、取りつぶしにされた津山藩の城受け取りの上使を命じられた際に出された徳川綱吉の命令書です。原本には目付の下に綱吉の署名と黒印があるはずですが、使者が文書を開示し、原本を持ち帰って写しを渡すのが慣例であったので、大名家には写ししか残りません。

料紙※は、縦47センチ、横65.5センチと大判で、厚さが約0.43ミリと厚い紙です。クワ科のコウゾが原料で、紙を光に透かすと、簀の跡がわかります。和紙は、竹などを編んだ簀を桁という枠にはさんで、水に溶かした繊維をすくい、乾燥させて作ります。現在、東山で行われている伝統的な紙漉で使われている簀は、3センチの間に約34本の竹が編まれています。この資料の簀跡は10本から11本と少なく、カヤを編んだ簀を用いたと思われる。また、この紙はしわ文様のある檀紙という紙です。檀紙は、奈良時代にマユミ(檀)の皮で漉いたともいわれますが、平安時代ごろに

※料紙 物を書くのに用いる紙

一関市博物館案内 ☎29-3180 ホームページhttp://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp

いわての博物館交流セミナー
岩手の消えゆく草木
 通常当館で扱っていないテーマを、他館との交流により提供します。今回は岩手の植物をテーマに、講演会を行います。
 ■日時…3月11日(日) 13時30分～15時 ■講師…鈴木まほろさん(岩手県立博物館専門学芸調査員) ■定員…中学生以上50人(先着順)電話で申し込み



■会期…3月11日(日)まで(月曜休館)
 平成18年度テーマ展3
和紙—その用と美
 文字を書き、伝え、遺し、また包装や衣類、建具などさまざまな生活の場面で利用され、日本の文化を支えてきた和紙。多様な和紙の「用」と、その美を感じていただきたいと思えます。
 東山和紙の資料をはじめ、和紙のドレスなど多様な和紙製品を展示しています。